

会 議 録

会議の名称	第3回 長瀬町学校のあり方検討委員会
開催日時	令和2年12月22日(火) 午後1時30分～午後3時19分
開催場所	長瀬町役場 4階 全員協議会室
出席者	委員 13名 事務局4名
欠席者	委員 3名
会議の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 委員長あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童生徒数の推計と施設等に関する資料について (2) 保護者アンケートの内容について (3) その他 4 事務連絡 5 閉会
会議の公開又は非公開	公開
非公開理由	—
傍聴人の数	0名
発言の内容	別紙「審議内容」のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第3回長瀬町学校のあり方検討委員会次第 ・ 資料1 長瀬町の現状について ・ 資料2 調査の概要 <ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート案1 保護者アンケート案2
事務局	教育総務担当
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
その他の必要事項	

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1 開会 (事務局)

2 委員長あいさつ

ありがとうございました。

それでは、ここからの議事の進行につきましては、委員長にお願いをいたします。

3 議事

(1) 児童生徒数の推計と施設等に関する資料について (事務局説明)

- ・児童生徒の推移と将来推計
- ・児童生徒数、教職員数及び設備関係の学校間の比較
- ・学校教育系の施設の状況
- ・施設の改修、更新費用について説明。

委員長) それでは、議題について検討したいと思います。ご意見何かありますか。

委員) 資料P. 11の「学校教育系施設の築年数状況」について、学校だけでなく長瀬町全体の施設の見通しはあるのか。

事務局) 今の時点では施設の統合などの話は出ていないので、維持・管理していく方向。「学校のあり方検討委員会」なので、学校に絞って考えていきたい。

委員) 資料P. 3「児童生徒の将来推計」を見ると、R17年に中学生は約半分の人数で3クラスになり、教室が余ってしまう。学校単位ではなく町全体で規模を考えないと、無駄が出てしまうのでは。

委員) 児童数の関係で親が子供のことを考え、二小から一小到引越した、という話も聞いて寂しく思う。小学校はいずれ1校にしないと無駄が出てしまうと思うが、例えば分校とはどのようなものなのか。二小の駐車場を購入したというのは、どの辺りなのか。

事務局) 農協の跡地を一部購入した。

委員) 資料P. 5を見ると、小学校間における教員一人あたりの児童数にかなり差があるので、何とか解消できないのか。今後どうしていくかを検討することはあると思う。

副委員長) 資料の数字だけ見ると驚いてしまう。学校はそこにある金額位で統合が可能なのか。(保育園でも2億円位掛っている)

事務局) 実際にはもっと多くの金額が掛かると思われる。

副委員長) 町の公民館等も老朽化がかなり進んでいる、という話を聞いた。町全体で施設のことも考え、複合エリアのようなものが考えられないか。

委員) 「何年後にこうなる」ということがわかれば、住民が移動してしまうようなこともなくなるのではないか。保健センター等も利用できると思う。学校が町の中央なら、樋口から来るにしても長瀬から来るにしてもいいかなというのはある。ただ、どの位の費用でどの位の改修ができるのかとは考える。これから新一年生になる子どもの保護者に聞いたら、統合になると寂しい感じはあるみたいですが。統合するなら新しい場所(学校)をつくった方がいいと思う。小・中が同じ場所、できれば保育園等も一緒になれば保護者としてはありがたい。いろいろなことが1年以内に決定すれば、移動する人も減るかもしれない。

委員) 人間関係が固定化してしまうことを心配して、第二小から第一小に転校した家庭もあるようだ。児童一人あたりの教員数、保護者の負担に偏りがあることを考えると、統合もやむを得ないのでは。データから経済的な面を見ても、統廃合を考えた方がよいと思う。うちの地区では区費の値上げを行ったが、ひと月あたり100円、年間1200円でも多くの意見をいただいた。6億という金額となると、さまざまな意見が出てくると予想される。

委員) R7年には中学校が1クラス並行になり35人学級になると考えれば、単純にクラス数としては小学校の児童が中学校に入ることが可能なのではないか。アンケートは保護者だけでなく、住民の意見を聞くことも必要であると思う。

委員) 10年、20年後には多くの費用がかかるのは目に見えているので、補助金が出るのならば方向性を決めて取り組んでいけばよいと思う。しかし、まずは来年度二小が複式学級になってしまうことを考え、具体的にどのくらいの費用が発生していくのかなど、身近な問題から解決していくことが必要なのではないか。

委員) 「学校のあり方検討委員会」として、地域のコミュニティの核である学校の役割を検討していかなければ。まずは、子供たちを安心して預けられる教育環境を整えていくことが大切。アンケートは全町民を対象とし、今後の学校の再編の必要性について、どのくらいの認識があるのか調査した方がよい

と思う。

委員) 令和7年に一小と二小を併せた人数で計算すると、1学年あたりの人数が39.6人なので、35人学級編成では1クラス20人弱となる。これは、児童一人ひとりに目が行き届く状況であると感じた。一小、二小共に地域のコミュニティにもなっているので、統合により学校が遠い場所になったとしても、地域の方に愛される学校づくり、役割をしていけたら。

委員) 児童数に対して教員が多いことにより、子供たちをよくみることができていると感じる。そういった意味でも、二小は保護者や地域に近い存在であると思う。今後、寄居町に近い矢那瀬がどう変わっていくのか、ということも感じる。二小がなくなって一小になるというイメージがあるかもしれないが、二つの小学校が一緒になって新しい学校をどう作っていくのかを考えていかないと。これからの子供たちが長瀬町以外に流出してしまわないかが心配。町としての方向性や魅力を出して人を集め、地域コミュニティを大切にこの2年位で早めに見通しを立てないと。

委員長) ありがとうございます。それでは、続いて、(2)の議事に入りたいと思います。

(2) 保護者アンケートの内容について(事務局説明)

アンケートの案を2パターン示し、それを土台に意見を申し出てもらう形とした。

アンケート案1、アンケート案2について説明。

副委員長) アンケートの問いに対して、幼稚園、保育園の保護者としては、表現を変えないと答えるのが難しい問いがある。

事務局) アンケートは、案1か案2のどちらかにするのではなく、案を一つにまとめて今年度中に配布できればと考えている。持ち帰って見ていただいて、ご意見をいただければと思います。

副委員長) アンケート案1「地域に対する学校の役割」が、案2でなくなったのはなぜか。

事務局) アンケートにもいろいろな形があるので、学校だけでなく地域についても聞いた方がよいか、などパターンを変えて案を作ったものです。

委員) アンケートの対象者が、予算などいろいろな状況をわかっているのといないのでは、内容が変わってきてしまう。有効に使うには先を考えて段階的にとっていく必要があると思うので、最初はシンプルに、広く大

勢の意見を聞いたらよいのでは。

副委員長) シンプルなもので、アンケートに必要な資料が付いているとよい(児童数の推移等)。

委員長) アンケート案1に、わかりにくい部分がある。事務局でもう一度検討をしてもらえたら。

事務局) 委員の皆さんに、一度、アンケートを持ち帰って検討し、表現や内容について意見があれば、1月8日(金)までに教育委員会へ連絡をお願いしたい。

(3) その他

委員長) その他、何かありますか。(特になし。)

それでは、議事を終わりにさせていただきます。

4 事務連絡(事務局から)

次回の会議は、2月中旬頃を予定しています。

委員の方には、ご出席いただきますようお願い申し上げます。

5 閉会(事務局)